

## 監視システム 設置

# タイで工場向け販売

## 昭和興産 保全作業を大幅簡略化

【バンコク＝岩崎淳】昭和興産は、タイで工場向け簡易設備監視システムの販売を開始した。機械装置を無線センサーで監視する簡易システムで、日本で120社以上に採用されている。タイでは操業の安定化や工場作業の自動化につながる

システム導入を検討する企業が増加しており、拡大が見込まれる市場を開拓する。タイ現地法人昭和興産タイランドが日本製紙工業株式会社の設備監視システムの販売を手がける。無線認証も取得され、e-FUJIYAMA

のブランド名で展開する。モーターなど工場の機械装置において、無線センサーを利用して振動、温度を計測し異常値を検知する。機能を簡素化したことで価格は一般的なシステムの3分の1程度という。e-FUJIYAMA

の設置で、これまで技術者の経験やノウハウに頼っていた作業を自動化でき、保全作業を大幅に簡略化できる。すでに、タイの大手繊維関連工場で採用された。さらに食品関連、工業用製品メーカーも導入を検討している。

昭和興産タイランドは化学品や合成樹脂、エレクトロニクス関連や食品分野などで幅広い商材を取り扱っている。タイ進出から20年を超える事業運営で築いた実績、販路を拡充し、品揃えを拡充して持続的成長を目指す。

政府が産業の高度化を推進するタイでは、合理化を検討、実行するメーカーが増加傾向にある。拡大する需要を取り込み、早期に年間売上高1億円を目標に掲げている。